

# の観光



## 取り組みや実績を通しみなさんで考えましょう

今年も4月末からのゴールデンウィークをきっかけに、観光や釣り客が訪れる「奥尻島の観光シーズン」がはじまっています。

今年、奥尻島らしく観光客などをおもてなしするイベントとして、5月1日に「奥尻しまびらき」を初めて実施しました。

また、6月からは「賽の河原祭」を皮切りに、「奥尻三大祭」がスタートし、観光本番を迎えることとなります。

毎年「広報おくしり」6月号では、奥尻町の観光への取り組みや実績などをご紹介しますが、今年も町民みなさんとともに主産業とも言える「奥尻島の観光」について考えていきたいと思います。

## 昨年の入込み数は？

昨年度（平成18年度）に奥尻町を訪れた観光客の入込み数は、次の表1やグラフのとおり5万492名で対前年比4.0%の減少となり、平成15年度以降の過去3年間の入込み

数は減少傾向となっていて、道南観光は依然厳しい現状にあります。その主な原因として考えられるのは、沖縄や海外旅行の人気や、道内外旅行者が道内

の人気観光名所に集中したところなどから、道南圏や檜山管内への入込み減に影響していることが挙げられます。月別の状況を分析しますと全体的には道外ツアーの安定



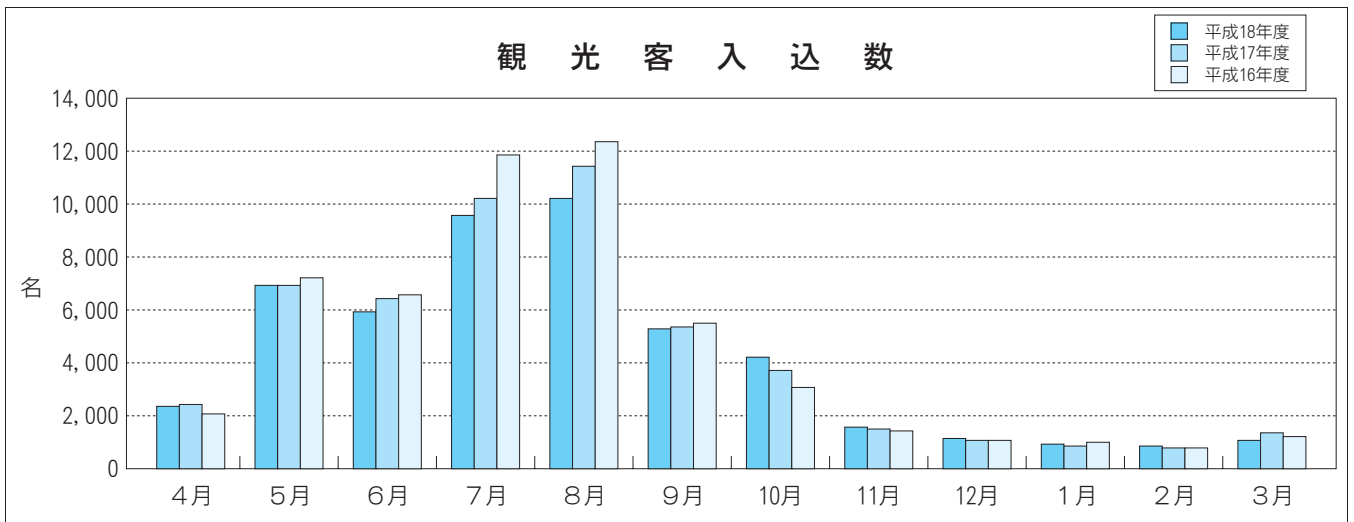
# 特集

# 奥尻島

〔表1〕 観 光 客 入 込 数

(単位：名)

月 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
飛行機	276	299	254	408	615	338	398	347	164	232	228	314	3,873
飛行機前年度	253	303	211	413	660	376	434	153	277	239	189	455	3,963
対前年度同月増減	23	-4	43	-5	-45	-38	-36	194	-113	-7	-39	-141	-90
フェリー	2,098	6,838	5,913	9,186	9,606	4,965	3,782	1,186	957	665	624	799	46,619
フェリー前年度	2,218	6,842	6,376	9,867	10,749	4,958	3,301	1,323	811	664	639	871	48,619
対前年度同月増減	-120	-4	-463	-681	-1,143	7	481	-137	146	1	-15	-72	-2,000
平成18年度	2,374	7,137	6,167	9,594	10,221	5,303	4,180	1,533	1,121	897	852	1,113	50,492
平成17年度	2,471	7,145	6,587	10,280	11,409	5,334	3,735	1,476	1,088	903	828	1,326	52,582
平成16年度	2,044	7,692	6,860	11,876	12,325	5,457	3,038	1,412	1,060	975	826	1,257	54,822
対前年度同月増減	-97	-8	-420	-686	-1,188	-31	445	57	33	-6	24	-213	-2,090
対前年度累計増減	-97	-105	-525	-1,211	-2,399	-2,430	-1,985	-1,928	-1,895	-1,901	-1,877	-2,090	-2,090
対前年同月比	96.1%	99.9%	93.6%	93.3%	89.6%	99.4%	111.9%	103.9%	103.0%	99.3%	102.9%	83.9%	96.0%



により観光客の入込みがフラット化傾向にあるものの、6月から8月までが対前年比8・1%マイナス、2千294名が減少しているのが現状です。

これは、「夏が魅力」、「憧れの島」として人気が高いというデータがある奥尻島に、まだ「行ってみたい」が、「行ってみよう」「行こう」に繋がるまで、広い意味での「何か」が不足しているためと思われる。

この現状を打破するためには、奥尻島らしい楽しみ方やおもてなしの仕方、今までにない観光のあり方をもっと研究・PR・実行することが必要であると考えられます。

全国的に景気が上向きつつあると言われますが、奥尻島を訪れる観光客はここ数年減少傾向にあり、このままでは入込み数は年間5万台を割る状況下にありますので、「住民意識の向上が経済を変える」という視点に立ち、住民一丸となった観光の魅力づくりへの取り組みが、今後は大変重要になると考えられます。